

2016

BUSINESS REPORT

第65期 報告書

2015.4.1～2016.3.31



# 株主の皆さまへ

## 「人の呼吸にもっとやさしく」

～より自然に近い環境づくりを目指し、建築文化創造の  
担い手として、未来に向かって邁進いたします。～

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

ここに当社第65期の業績についてご報告申し上げるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

このたび当社は、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

これに伴い経営体制も大幅に刷新し、より一層のコーポレートガバナンス体制の強化と、経営基盤の改善により、株主さまの信頼にお応えしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



大成温調株式会社  
代表取締役社長 水谷憲一

### 新しい経営陣のご紹介

代表取締役社長 水谷 憲 一  
取締役会長 水谷 大 介  
取締役副会長 中尾 信 雄  
取締役専務執行役員 中村 恭 三  
取締役専務執行役員 奥 山 徹

取締役常務執行役員 野 口 光 男 (新任)  
取締役常務執行役員 小 熊 和 彦 (新任)  
取締役常務執行役員 志 田 憲 彦 (新任)  
取 締 役 河 村 和 平 (新任)※

取 締 役 大久保 和 正 ※  
取 締 役 公 文 敬 ※  
取 締 役 伏 見 幸 洋 ※

※監査等委員

注) 大久保和正氏、公文敬氏および伏見幸洋氏は社外取締役であります。

## スペシャル対談



長期経営戦略Decade Strategy 2020の策定から5年。大成温調は、その折り返し点となる2016年3月期を業績好調のうちに終えた。就任2年目を迎えた水谷憲一社長へのインタビューからは、足元の好調に慢心することなく、「質へのこだわり」と「人づくり」を通じて長期的な企業基盤の強化に邁進する若き経営者の力強い意志が感じられた。

山岡：注目された就任1年目に、増収増益という結果をしっかりと出されました。16年3月期を振り返っての手応えをお聞かせ下さい。

水谷：16年3月期の業績は外部環境の好転に支えられた部分が大きかったと考えています。国内市況回復の好影響がようやく私どもの業界にも及び始め、民間需要や公官庁工事に関わる案件に恵まれた1年でした。とりわけオリンピック開催決定を背景とした首都圏での堅調な動きが、業績全体を牽引しました。就任1年目から一定の数字を残すことができましたが、これは会社の戦略云々というよりも、全社挙げての現場の奮闘に支えられた結果だと考えており、社員に感謝しています。

先のことを見据えると、決して順風満帆とは考えてはおりません。海外需要は踊り場を迎えつつありますし、今年に入ってからは国内のマクロ経済にも多少の不安要素が出てきています。私どもの業界は常にアップダウン

# スペシャル対談

ンを繰り返しながら発展してきました。現場の踏ん張りに甘えることなく、2020年の「後」も見据えた質の高い経営戦略を推進していくことが、経営者としての責務だと気を引き締めているところです。

山岡：長期経営戦略Decade Strategy 2020も10年間の後半に入ります。現時点で最も意識している経営テーマについて教えて下さい。

水谷： 成長に対する意識に変わりはありませんが、その過程においては「量」ではなく「質」の追求を益々重視しています。大事なのは「仕事の質」と「人材の質」です。この2つの質を高めていけば、生産性や利益率は自ずと上がってくると考えているからです。

「仕事の質」という面では、たとえば最終ユーザー様と直接向き合う案件を強化することで社員の矜持を育てていきたいと考えています。また首都圏を中心に設備の老朽化対策は待ったなしの状況にあるのですが、こうしたリノベーション案件では、たとえば天井を剥がすことなく設備の現況を推測し、見積を立てていく必要があります。そうした局面においては私たちのノウハウやコスト競争力が活かれますし、仕事の質を上げていくことにも繋がっていきます。

中長期的にはフローを中心とした設備工事の受注案件だけでなく、ストック性の高い安定的な収益を増やしていきたいとも考えています。これまでも注力してきたビル設備の保守契約獲得だけでなく、バイオマス発電所や工場等の建設・レンタルといった分野にも大成温調の空調や水に関する技術を活かす余地があります。また業界における構造的な人手不足も視野に入れながら、エンジニア人材の教育・派遣といった事業についても、ストックビジネス育成の一環として注力したいと考え、検討を開始しています。



山岡：企業にとって最も大切な資源は人材です。役員時代から担当として指揮を執ってこられた「人づくり」は長期経営ビジョンの中心的な理念でもあるわけですが、現在の進捗をお聞かせ下さい。

水谷： 中期的にリノベーション需要の高まりが予想される中、弊社にとって成長の鍵となるのがキャパシティ（受注許容量）の問題です。質の重視を掲げる以上、むやみな組織の拡大は避けなくてはなりません。人を中心とした内部資源を最適状態へと再配分しつつ、外部の資源を上手に活用することで機会損失を最小化し、質の高い成長を目指します。全ての仕事を自前でやろうとするのではなく、協力会社様や海外人材を含めたリソースをきちんと活用することが大事になってきます。レストランの厨房でも総料理長は指揮に徹しているわけで、



実際に手を動かしている調理人は別にいるわけですね。自ら動いてやってしまうのが短期的には最も楽で早いのだとしても、大成温調が創る価値はそこにはない。本当の価値は、品質・原価・安全を含めた総合的な管理を行うことから生まれるわけです。その意味で昨年「人件費効率」（人件費1円あたりの付加価値）を導入したことによる意識の変化が、社員の働き方や生産性の大幅な改善に繋がっていることに手応えを感じています。

「人づくりを通じて成長する」という価値観・モチベーションを社員と共有するために、月1回のマネジメントレター（社長通信）の発行や、年2～3回ではありますが各拠点を巡っての様々なコミュニケーション、組織別のイベント開催支援などを通じて風通しの良い組織づくりも継続して行っています。

社内教育システムについては年を追うごとに整備されています。最近では、これまでの研修内容に加えて、協力会社様に講師になっていただくなど、円滑な現場運営のために我々自身が意識すべきこと、協力会社様の目から見た大成温調、といった新たな視点からのカリキュラムを新設しています。外部リソースを活用しながら共通のゴールに向けた互いの連携を強化する取り組みの1つとして効果を上げています。

山岡：16年3月期の増配決定に続き17年3月期を「IR強化元年」と位置づけられました。株主価値の向上に対する姿勢をお聞かせ下さい。

水谷：時代の要請に向き合いながら、配当を含めた株主総還元のある方、あるいはバランスシートの適正規模などを検討した結果、今般の増配を決定しました。もちろんキャッシュの効果的な使い方は、経営を預かる者として常に意識しています。継続的に成長する企業として、人への投資、情報インフラの整備、M&Aやストックビジネスにも取り組むことで、しっかりと企業価値を向上させていきたいと考えています。

投資家向け広報（IR）については、決算説明会や会社説明会の開催、情報インフラの整備やプロモーションビデオの作成などを通じて、長期ビジョンに基づいた経営を進める弊社へのご理解と信頼を育んでいきたいですね。投資家の方々に見込んでいただきたいのは、やはり「将来性」です。一般的な経営者の方々比べて私自身が若いという点をチャンスとして捉え、20年後、30年後の大成温調について責任を持って語り、これまでお伝えできていなかった弊社の価値を投資家の皆さまにご理解いただけるよう努めてまいります。



株主の皆さまにおかれましては、引き続き弊社へのご理解・ご支援を、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

# 事業内容

大成温調は建物の新築、保守・修理・小工事、リニューアル工事および省エネ、節電提案等の環境改善を行う総合設備工事会社です



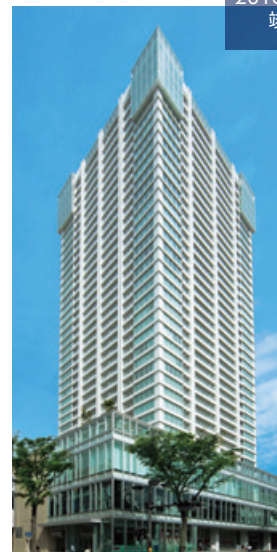
私たちは世界に跳躍<sup>はばた</sup>く、総合設備のプロフェッショナルグループを目指します。  
-Global Facility Solution Group-

2015年12月  
竣工



九州がんセンター（福岡県）

2016年3月  
竣工



ザ・タワー横須賀中央（神奈川県）

# 連結財務諸表 (要約)

## ■ 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	33,036	34,946
有形固定資産	4,819	4,126
無形固定資産	116	132
投資その他の資産	3,811	4,021
資産合計	41,783	43,228
<b>負債の部</b>		
流動負債	22,188	22,640
固定負債	1,091	1,129
負債合計	23,279	23,769
<b>純資産の部</b>		
資本金	5,195	5,195
資本剰余金	5,087	5,087
利益剰余金	7,736	8,722
自己株式	△386	△389
その他有価証券評価差額金	566	609
為替換算調整勘定	400	334
退職給付に係る調整累計額	△95	△101
純資産合計	18,503	19,458
負債純資産合計	41,783	43,228

## ■ 連結損益計算書

(単位: 百万円)

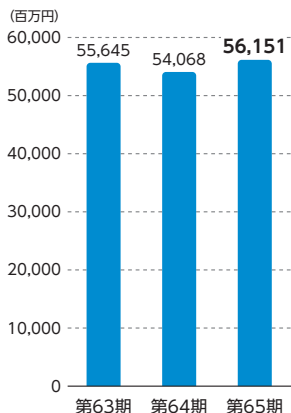
科目	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	54,068	56,151
売上原価	49,539	49,875
売上総利益	4,528	6,276
販売費及び一般管理費	4,486	4,561
営業利益	41	1,714
営業外収益	380	229
営業外費用	27	82
経常利益	395	1,861
特別利益	8	413
特別損失	294	243
税金等調整前当期純利益	109	2,031
法人税、住民税及び事業税	324	760
法人税等調整額	217	89
当期純利益又は当期純損失 (△)	△433	1,181
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△433	1,181

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

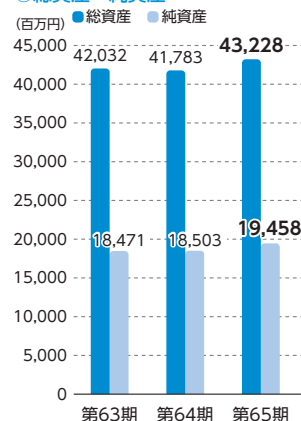
(単位: 百万円)

科目	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,739	498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△702	385
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133	△466
現金及び現金同等物に係る換算差額	133	△60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,442	356
現金及び現金同等物の期首残高	12,600	8,157
現金及び現金同等物の期末残高	8,157	8,514

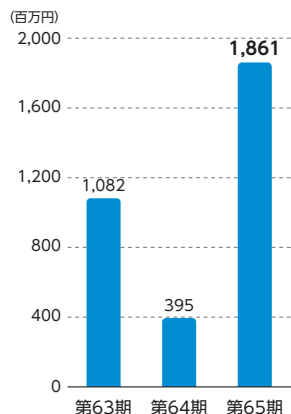
## ○売上高



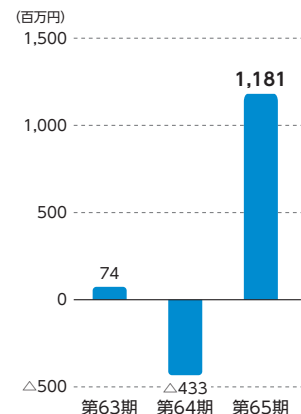
## ○総資産・純資産



## ○経常利益



## ○親会社株主に帰属する当期純利益



当社のHPでは、詳細なIR情報を掲載しております。

<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/>

# TOPICS

## 監査等委員会設置会社への移行について

当社は、平成28年6月開催の定時株主総会終結をもって、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

監査等委員である取締役は、常勤取締役については執行役員として豊富な経験、実績を有する人材、社外取締役については、企業の役員経験や学識経験を通じ、企業経営に関して優れた知見を有する人材を配し、これにより取締役会機能の強化と業務執行の監督等に十分な役割を果たすこととなっております。

監査等委員会設置会社への移行により、コーポレートガバナンス体制の一層の強化を図り、より開かれた経営環境の整備により、経営の健全性と透明性をさらに向上させ、これまで以上に株主の皆さまのご信頼に応えてまいります。

## 「人づくり」の実現に向けて

トップインタビューにもあるように、当社では「人づくり」こそが、企業の最大の成長エンジンであるとの認識に立ち、人材を財産ととらえ、一人ひとりがより高い付加価値を創出できるよう、様々な人財育成を進めています。

各人が、それぞれ個別の得意分野の伸長や不得意分野の克服に努められるよう、教育プログラムのオープン化を実施し、一人ひとりのテーマに即したきめの細かい教育体系を構築しています。

こうした技能面の強化だけでなく、交渉力やプレゼンテーション能力といった対人スキル、論理的思考や言語化スキルなど、多方面から人間の持つ総合的な能力を引き出すための実践が行われています。

人財育成というと一般的に内向きの施策と捉えられがちですが、当社は成長し続ける企業として、人財が業績を担保する最大の経営資源であるとの考えに基づき、人的資源への投資を進めております。

「人づくり」の根底にあるものは、社是である「お客様第一」の理念なのです。



# TOPICS

## 単元株式数の変更と株式併合

このたび当社は、全国証券取引所による上場する国内会社の普通株式の売買単位（単元株式数）を100株に統一することを目指した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を尊重して、当社株式の売買単位（単元株式数）を1,000株から100株に変更し、併せて東京証券取引所が望ましいとしている投資単位の水準（5万円以上50万円未満）を勘案し、株式併合（2株を1株に併合）を実施することといたしました。

### 変更の内容

平成28年10月1日（土）をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更します。

併せて同日をもって、平成28年9月30日（金）の最終の株主名簿に記録された株主様の所有株式を基準に、2株につき1株の割合をもって併合します。

株式併合と単元株式数の変更内容に関する詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/files/2016/28.05.13-4.pdf>

## CSR活動の展開

大成温調グループは、『信頼』と『誠実』の経営を通じ、『人財』と『技術』をもって、社会に選ばれる会社であり続ける」ことを経営理念に掲げ、「企業倫理規程」、「行動憲章」を定め、社員および役員が守るべき行動の原則に、すべての法令を誠実に遵守するとともに、社会的な良識をもって行動することを掲げております。

この原則を実践することにより、企業市民としてその社会的責任（CSR）を果たし、広く社会からの信頼を獲得していくことを目指しております。

2015年度の活動としては、品川区主催による地元企業と中学生との交流事業「しながわ職場歩き」や清掃美化活動への参画、自主開催による地域や作業所周辺の清掃活動などを展開いたしました。

また、2016年度からは、千葉県鴨川市に拠点を置く女子サッカークラブチーム「オルカ鴨川FC」のゴールドパートナーとして、チームの支援に参加しております。



しながわ職場歩き



清掃活動

# Pick Up!

## 当社のファシリティ事業

— お客さまの大切な建物のために —

建物設備の不具合や故障を未然に防ぎ、設備の延命化を図るため、当社のファシリティ部門は、365日、24時間体制で対応しております。

建物の設備全般・建築内装を、新築時から改修サービスまでワンストップで手掛け、お客さまの建物の付加価値向上を目指します。

### 建物設備の診断、保守、修理



建物を人間に例えると、設備はいわば内臓器官に当たります。建物も人と同じように、定期的に診断を行い、不具合が生じる前に改善・延命対処する必要があります。当社では、設備の重要点を的確につかんだ診断、保守、修理を行っております。

### 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 1904

いいかぶ

検索



空メールにより  
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも  
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

# 会社概況・株式情報

## 会社概況

商号 大成温調株式会社  
本社 〒140-8515  
東京都品川区大井一丁目47番1号  
TEL.03(5742)7301(代)  
FAX.03(5742)4551

創業 昭和16年4月3日  
設立 昭和27年12月22日  
資本金 51億9,505万7,500円

従業員の状況  
(平成28年3月31日現在) 658名

## ネットワーク 平成28年6月28日現在

### 大成温調株式会社

本社・支店 本社(品川区)、東北(仙台市)、関東(さいたま市)、東関東(千葉市)、横浜(横浜市)、静岡(静岡市)、名古屋(名古屋市)、大阪(大阪市)、西日本事業部(福岡市)

営業所 青森(青森市)、盛岡(盛岡市)、秋田(秋田市)、山形(山形市)、気仙沼(気仙沼市)、郡山(郡山市)、茨城(つくば市)、宇都宮(宇都宮市)、群馬(太田市)、千葉県南(鴨川市)、東都(荒川区)、江東(江東区)、多摩(立川市)、厚木(伊勢原市)、山梨(中央市)、新潟(長岡市)、三島(三島市)、滋賀(大津市)、京滋(京都市)、神戸(神戸市)、奈良(奈良市)、和歌山(和歌山市)、広島(広島市)、四国(高松市)、沖縄(那覇市)

サービスステーション 城南(品川区)、城北(品川区)、中央(品川区)、東都(荒川区)、城東(江東区)、城西(杉並区)、多摩(立川市)、横浜(横浜市)、厚木(伊勢原市)、千葉(千葉市)、大宮(さいたま市)、太田(太田市)、宇都宮(宇都宮市)、我孫子(我孫子市)、静岡(静岡市)

## 株式の状況 平成28年3月31日現在

- 発行可能株式総数 ..... 55,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 14,364,975株
- 株主数 ..... 1,928名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
アクアウェッジ(株)	1,986千株	15.2%
大成温調取引先持株会	1,627	12.4
水谷日出夫	1,112	8.5
河村和平	803	6.1
大成温調従業員持株会	701	5.4
一般財団法人ぺんぎん奨学財団	700	5.4
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	196	1.5
青木鋭衛	180	1.4
和田ふみ子	150	1.1
(株)みずほ銀行	146	1.1

(注) 上記のほかに自己株式(1,296,306株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 毎年3月31日  
定時株主総会・期末配当 中間配当を行う場合には9月30日  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-782-031  
(インターネット) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
ホームページURL  
公告方法 電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行います。  
ただし、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※その他ご不明な点は、上記の三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

# 当社及び重要な関係会社（大成温調のグローバルネットワーク）

- 大成温調機電工程（上海）有限公司
- 大成温調香港工程有限公司



- 大成温調株式会社
- 温調エコシステムズ株式会社
- ペンぎんアソシエイツ株式会社



- ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION
- TASEIONCHO HAWAII, INC.



- TASEI ONCHO INDIA PRIVATE LIMITED



- SEAPRODEX REFRIGERATION INDUSTRY CORPORATION



※戦略的パートナー



TAISEI  
ONCHO

人の呼吸にもっと優しく

大成温調株式会社

ISO 9001 登録  
14001

本社 ● 〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号

TEL.03 (5742) 7301(代) FAX.03 (5742) 4551



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。